

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 1 霊園事業費

項 1 霊園事業費

目 1 一般管理費

事務事業番号 01010104

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
霊園管理基金積立金		1,288 千円	千円	千円	1,288 千円	千円
環境衛生部環境生活課						
根拠法令	苫小牧市霊園管理基金条例					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	霊園管理基金積立金は、新規墓所の管理料を積み立て、運用利子により霊園の維持管理費を賄う果実運用型の基金として施行しました。 また、平成29年度からは、共同墓の管理料の2分の1を将来予想される共同墓の修繕費用に充てるため、積み立てています。					
事業の必要性	霊園管理基金積立金は霊園の維持管理や大規模改修工事に充当しており、平成29年度からは将来予想される共同墓の修繕費用に備えるための積み立ても行うことから、今後も必要です。					
事業の内容	○平成18年度の条例改正により、基金を取り崩し可能にしました。 ○平成29年度の共同墓設置により、共同墓管理料の2分の1を積み立てることとしました。 平成28年度末基金残高 95,020,294円 平成29年度基金積立金 1,288,000円 平成29年度基金取崩し額 22,373,861円 平成29年度末基金残高 73,934,433円					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	1,288 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
		担当正規職員	691 千円	0.1 人		
人件費	691 千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用(フル)	千円	人		
		再任用(ハーフ)	千円	人		
総計	1,979 千円	臨時職員	千円	人		
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	基金の年度末残高		千円	73,935	95,021	127,236
	積立金額		千円	1,288	1,008	1,224
成果目標	高丘霊園の大規模改修工事に続き、平成30年度は高丘第二霊園の改修工事を行うことから、基金を活用することで工事を実施していきます。 また、平成30年度は会計のあり方について一定の方向性を示すこととしているため、同時に基金のあり方についても一定の方向性を示します。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	昭和57年から積み立てている基金を活用することで、霊園の使用料や管理料のみでは行うことができない、高丘霊園の大規模改修工事を行うことができているため、事業の有効性は高いものと考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	平成18年度から基金の取り崩しを可能とし、霊園の維持管理費や大規模改修工事に活用してきましたが、近年の墓所貸付数減少に伴い、取り崩し額が積み立て額を遥かに上回る状況が続いたことから、基金残高が残りわずかとなってしまっているため、霊園事業特別会計と共に基金のあり方について検討する必要があります。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 1 霊園事業費

項 1 霊園事業費

目 1 一般管理費

事務事業番号 01010105

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
霊園の補修等に関する経費		29,342 千円	千円	千円	29,342 千円	千円
環境衛生部環境生活課						
根拠法令						
実施方法		□直接実施 ■業務委託等 □補助金・負担金・助成金				
事業の目的・対象		高丘霊園は、昭和36年の供用開始から50年以上経過しているため、施設の老朽化が激しい状況です。 開設当時に比べ、車社会の進展や利用者の高齢化に伴い、階段改修や駐車場の整備に関する市民要望が多く寄せられたことから、利用者の負担軽減を図り、高齢者や障がい者に優しく安心して墓参できる霊園を目指し改修を行います。				
事業の必要性		墓参時期（お盆、お彼岸）には混雑により車の駐車が困難な状況が続いているほか、施設全体の老朽化が激しく、蹴上げの高い階段や踏み幅の狭い階段等もあることから、利用者には不便な状況となっています。 このことから、駐車スペースの増加や歩きやすい階段への改修等が必要です。				
事業の内容		<p>【平成29年度改修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水汲み場整備 2箇所 ・駐車場整備 51台 ・給水管布設替え 約230m ・トイレ設置 1箇所（2基） ・休憩所設置 2箇所（2基） <p><参考> 【平成26年度から29年度まで実施した大規模改修工事の主な内容】</p> <p>○階段の改修及び新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蹴上げの高い、踏み幅の狭い、傷みの激しい階段の改修を行いました。 ・改修の難しい階段付近に階段を新設しました。 <p>○駐車場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行距離短縮と墓参時期の渋滞解消のため、分離帯を撤去し駐車場を整備しました。 <p>○トイレ及び水汲み場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水汲み場の整備、トイレの新設を行いました。 				
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	29,342 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
		担当正規職員	2,072 千円		0.3 人	
人件費	2,072 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用（フル）	千円		人	
総 計	31,414 千円	再任用（ハーフ）	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	改修階段数		段		248	189
	階段新設数		段			40
	駐車場整備		台	51		
成果目標		平成26年度～29年度まで高丘霊園の大規模改修を実施してきましたが、高丘霊園だけではなく高丘第二霊園も供用開始から年数が経過していることから、施設の老朽化が激しい状況となっているため、高丘第二霊園の改修も実施していきます。				
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由		平成29年度においては、駐車スペースの増加やトイレの新設等を行うことで墓参者の利便性向上を図ることができました。 また、大規模改修を実施したことで、墓参者からは階段の上り下りが楽になった等の声もありました。				
事業の課題、今後の方向性等		高丘霊園の大規模改修は終了しますが、高丘第二霊園も供用開始から年数が経過しているため、改修が必要な状況となっています。 また、高丘霊園内においても新たに改修が必要な箇所が出てきていることから、霊園全体を計画的に改修する必要があると考えています。				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 1 霊園事業費

項 1 霊園事業費

目 1 一般管理費

事務事業番号 01010106

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
高丘第二霊園管理事務所改修事業		1,998 千円	千円	千円	1,998 千円	千円
環境衛生部環境生活課						
根拠法令						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金				
事業の目的・対象		高丘第二霊園に管理事務所を設置してから34年経過していたことから、老朽化が激しく屋根が変形し錆び付いていたため、改修を行います。				
事業の必要性		設置後34年を経過していることから、老朽化が激しく屋根の変形、外壁剥がれや錆等が目立つ状況となっていたため、改修工事が必要です。				
事業の内容		<p>【改修内容】</p> 1. 屋根の取替え 2. 外壁や雨戸等の塗り替え <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【改修前】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【改修後】</p>  </div> </div>				
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	1,998 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	691 千円		担当正規職員	691 千円	0.1	人
総 計	2,689 千円		嘱託職員	千円		人
			再任用(フル)	千円		人
			再任用(ハーフ)	千円		人
臨時職員	千円		人			
事業実績 (活動指標)	指標名	単位	H29年度	H28年度	H27年度	
	管理事務所改修	千円	1,998			
成果目標		管理事務所の改修工事を行い、変形した屋根の取替えや剥がれ落ちている外壁等の塗り替えを実施します。 また、今後においても、老朽化対策など必要に応じた改修等を実施します。				
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
自己評価の理由		共同墓が管理事務所の前に設置されることとなり、共同墓の墓参者や納骨される方の目に触れる施設であるため、改修を行ったことで納骨される方等が不快に感じることはなくなったと考えられます。				
事業の課題、今後の方向性等		高丘第二霊園の管理事務所は改修を行いました。高丘霊園の管理事務所も老朽化が激しい状態となっているため、今後改修や建て替え等の検討が必要です。				
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 1 霊園事業費

項 1 霊園事業費

目 2 共同墓整備事業費

事務事業番号 01010207

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
共同墓整備事業		32,802 千円	千円	千円	32,802 千円	千円
環境衛生部環境生活課						
根拠法令	墓地、埋葬等に関する法律・苫小牧市墓地条例					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	少子高齢化や核家族化が進み、親族によるお墓の維持管理や継承が困難な状況や、経済的な理由からお墓を建てられないなど、社会情勢や価値観の変化に伴う埋葬形式の多様化が想定されることから共同墓を設置します。					
事業の必要性	市民の関心が高いことから、設置や計画変更に対する要望等も多く寄せられており、多様化する埋葬形式と市民要望に応えるためにも共同墓の設置は必要です。					
事業の内容	<p>【平成29年度】</p> <p>5月 共同墓整備工事 32,659,200円（周辺整備等含む）</p> <p>6月 条例改正（苫小牧市墓地条例）</p> <p>7月 住民説明会の開催（3会場:654人）</p> <p>2月 臨時窓口の設置 受付開始</p> <p><参考></p> <p>【平成28年度】</p> <p>8月 実施設計等 2,127,600円</p> <p>11月 住民説明会の開催（4会場:278人）</p> <p>12月 パブリックコメントの実施 共同墓モニユメントの寄贈（苫小牧石材協同組合）</p> <p>2月 修正設計 494,100円</p> <p>※市民要望が多いことから納骨可能体数を3,000体から5,000体へ変更しました。</p>					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	32,802 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
人件費	17,261 千円	担当正規職員	10,358 千円	1.5 人		
総 計	50,063 千円	嘱託職員	千円	人		
		再任用(フル)	千円	人		
		再任用(ハーフ)	千円	人		
		臨時職員	6,903 千円	3 人		
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	共同墓整備工事（周辺整備等含む）		千円	32,802		
	設計業務（実施設計等）		千円		2,622	
成果目標	住民説明会・パブリックコメント		回	4	4	
	50年間の使用を見込んでいることから、数十年毎にコーキングの張替え等の修繕を行い、施設の維持管理を行っていきます。					
	また、社会情勢や価値観の変化に伴い、樹木葬等の新たな埋葬形式も出現していることから、今後も埋葬形式の多様化が想定されるため、情勢等を見極めていきます。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	平成28、29年度における住民説明会の実施や広報とまこまいだけではなく様々なメディアを活用し、広く市民の方に周知を行いました。 また、市民の方からの意見や要望を基に納骨可能体数の変更や混雑解消に向けた臨時窓口の設置等を行うことで、市民ニーズに柔軟に応えました。					
事業の課題、今後の方向性等	共同墓は50年間の使用を見込み設置しているため、数十年毎にコーキングの張替え等の修繕を実施することで、施設の維持管理を行っていく必要があります。 また、予想を上回る件数の申込みがあることから、50年を経過する前に満杯となる可能性があるため、満杯になる前に増設や拡張等の計画を立てる必要があります。					
特記事項						